



みどり病院
外来看護科 山下 加奈

みどり病院小児科はかかりつけ医としての機能を持ちながら、総合病院への橋渡しをする役割を持っています。スタッフは常勤医師2名、非常勤医師1名で診療を行い、看護師・看護補助者で診療の補助をし、家族の状況を把握できるように心がけています。受診されたお子さんだけでなく、そのきょうだいの様子も伺ったり、受診に連れてきた保護者の方も体調を崩していないか確認したりしています。保護者の方の場合は内科と連携して同日受診できるように調整することもあります。

みどり病院小児科はかかりつけ医としての機能を持ちながら、総合病院への橋渡しをする役割を持っています。スタッフは常勤医師2名、非常勤医師1名で診療を行い、看護師・看護補助者で診療の補助をし、家族の状況を把握できるように心がけています。受診されたお子さんだけでなく、そのきょうだいの様子も伺ったり、受診に連れてきた保護者の方も体調を崩していないか確認したりしています。保護者の方の場合は内科と連携して同日受診できるように調整することもあります。

診療情報・感染情報・みどり病院小児科 イベントお知らせ

Instagram

midori.syounei

「みどり病院小児科」で検索してみてください。



医局リレー



みどり病院
精神科医師 遠藤 嶺

「この地域での暮らしを支えるためのこころのケア外来」

今回このコラムに初めて寄稿させていただきます。普段は「こころのケア外来」で診療にあたっているんですが、あまりなじみがないかもしれません。ひょっとしたら怖いイメージを持つておられる方もいらっしゃるのではと思います。

これまで日本の精神医療は「重症の精神疾患患者に対しての入院医療」に重点が置かれていました。それが時代の移り変わりとともに「すべての国民を対象として、こころの健康問題全般に対して、予防を含めた対応が必要」だと変化してきています。

厚生労働省が行っている患者調査では精神疾患の患者数は502万人を超え、日本での自殺者数は年間2万人を超えています。



すこやか診療所歯科は、歯科往診を重要な歯科医療活動と位置づけています。それは、この地域が岐阜市内でもトップレベルの高齢化率となっており、歯科に通えなくて困っている方が多いと考えているからです。私たちは、人は生きていく限りおいしく食事をするということが



訪問歯科のご紹介

道具にもこだわり高度な在宅歯科診療ができるようにポータブルエンジンやポータブルレントゲン等を購入しました。そのため、外来で治療するのと同じレベルで提供できるのですが、残念ながらユニット（診療台）までは持ち運びができませんので、限界があります。



すこやか診療所歯科：(058)201-3325

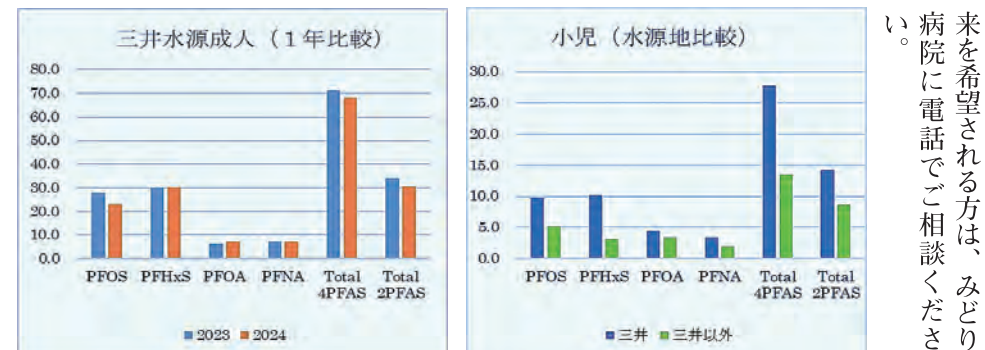
PFAS問題の現在地

岐阜県民医連事務局長 土井 正則

一昨年、各務原市で水道水のPFAS汚染が公表されて以降、地元住民団体とも協力しながら、血液検査や健康相談、市や県への要請行動などに取り組んできました。昨年11月には京都大学の研究に協力し、小児と一年後の追跡検査に組み込みました。結果は、1年経過後のPFAS血中濃度に顕著な減少はみられず、小児についても三井水源地域の小児が明らかに他地域よりも高く、健康への影響が懸念される米国アカデミー基準を14名中11名が超過していました。活性炭で処理しているとはいえ依然20ng/L前後の水道水が供給されており、その影響は否定できません。

環境省は水道水の品質を、水質改善を努力義務とする「暫定目標」から水質改善を義務付ける「水質基準」に引き上げ、基準値はPFOS・PFOA合計で現状と同じ50ng/Lとする報告書案をまとめ、パブリックコメントを募集しました。しかし、環境省が10万組の母子を対象にした追跡調査（エコチル調査）で、信州大学の研究グループが母親のPFAS血中濃度と子どもの染色体異常の関連性を指摘し、この研究から導き出される水道水の基準値は0.25ng/Lと小泉昭夫京都大学名誉教授は試算しています。米国でも飲料水におけるPFASの規制値をPFOS・PFOAそれぞれ4ng/Lに引き下げることを決定しています。パブコメでは基準値引き下げを求める意見が多数寄せられており、基準値の見直しが必要です。

各務原市はPFAS汚染への対応策として、中期的にはより低コストで効率の良いPFAS除去システムの導入、長期的には三井水源地を放棄し他の水源地の確保をすすめていく方針です。安心・安全な水道水を供給することは重要なことですが、汚染源を放置すれば地下水の汚染は下流域に拡大し、今後河川などへの環境汚染が広がる可能性もあります。汚染源の究明と除染は不可欠の課題で、汚染源として最も有力視されている航空自衛隊岐阜基地への土壌検査含む調査が急がれます。同時に、住民の健康不安にこたえるためにも、行政による血液検査や疫学的な健康調査の実施をすすめる必要があります。



今年も新入職員が仲間入り！「これからよろしくお願い致します」

岐阜勤労者医療協会 専務理事 大橋 正和



4月1日より医師1名、看護師3名、理学療法士2名、事務2名が新たに入職しました。4月2日（3日）にかけて新入職員オリエンテーションを開催し、当法人の歴史や理念、取り組みなどを学びました。無差別・公正の医療と介護を実践すること地域のみならず、健康やくらしに貢献していくことが私たちの最大の使命です。新入職員のみならず、もその理念が十分伝わったものと思います。今後の新入職員の活躍にご期待ください。